

4-3 伊豆半島及びその周辺の地震活動（1994年11月～1995年4月） Seismic Activity in and around the Izu Peninsula (November, 1994-April, 1995)

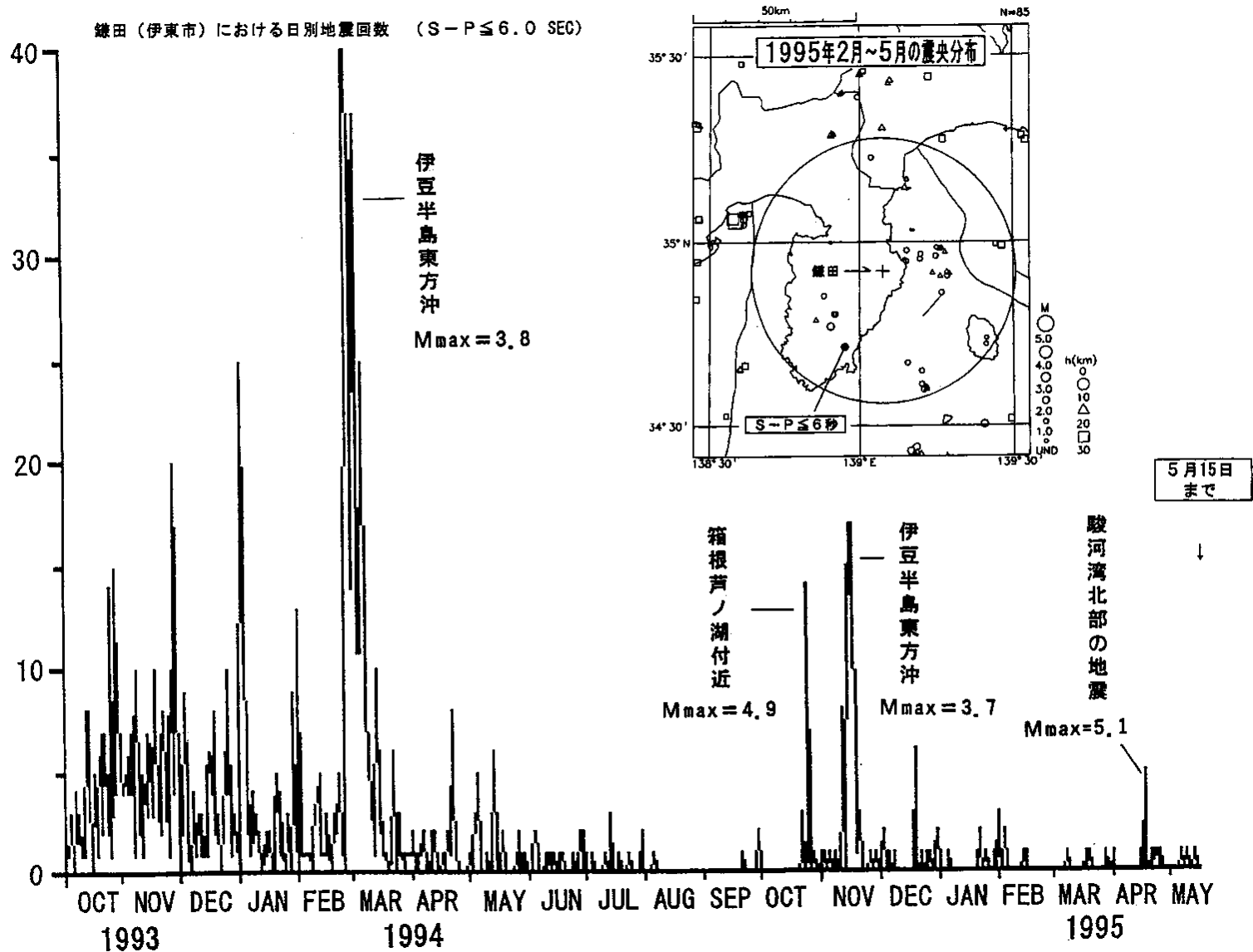
気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図は1993年10月以降1995年5月15日までの伊東市鎌田観測点を中心とする日別地震回数、同図右上には1995年2月～5月の伊豆半島及びその周辺の地震の震央分布を示す。1994年2月末の伊豆半島東方沖の群発地震活動以降、地震回数が40回を越えることはなく、この周辺では比較的静かな状態が続いている。第2図には1994年10月以降1995年4月迄の伊豆諸島周辺の地震活動を示す。1994年10月には箱根芦ノ湖付近でマグニチュード（M）4.9を最大とする活動があったのをはじめ、同11月には御蔵島と八丈島間の地域でM5.1を最大とする活動、同じく新島・神津島周辺の活動、伊豆半島東方沖の活動など、東経139度線に沿って南北に広範囲の活動が比較的短期間に起こった¹⁾。その後1995年1月に伊豆半島東方沖でM4.1、同じく神津島付近でM5.0の各地震、そして同3月には新島・神津島付近でM4.1の地震があった。

第3図は伊豆半島及びその周辺の地震活動を示す。1月22日には伊東沖でM4.1の地震が起こっているが、1994年3月や同11月の活動域と比較すると、震源はやや沖合である。また、半島内部には震源の集中する場所が見られない。第4図には新島・神津島およびその周辺の最近1年間の地震活動を示す。この周辺では1994年3月頃にM5クラスの地震を含む活発な地震活動が見られたが、その後、同11月頃まで散発的な活動を示した後、11月に新島の西方沖、そして12月～1月に神津島の付近へと活動域を移している。

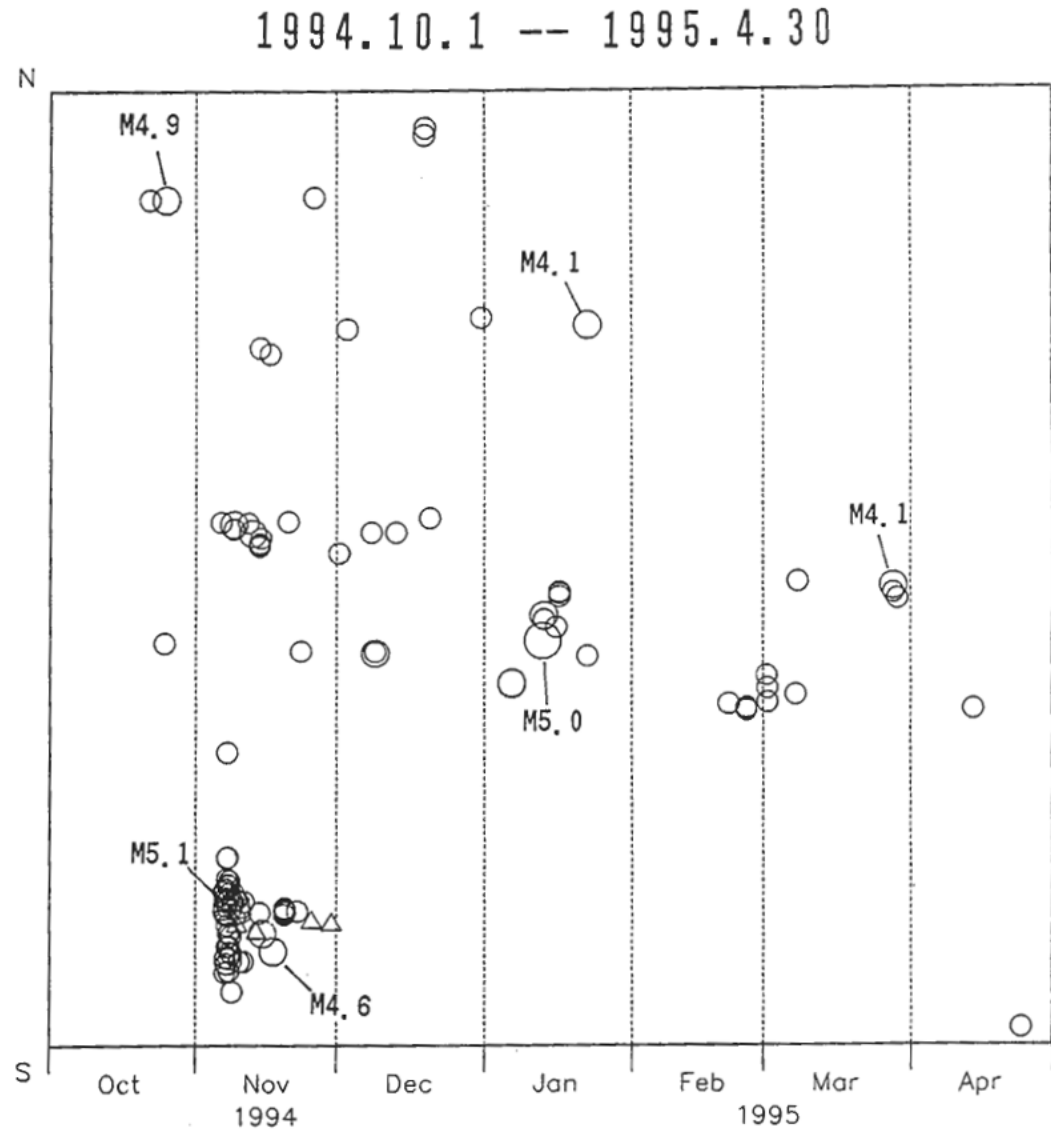
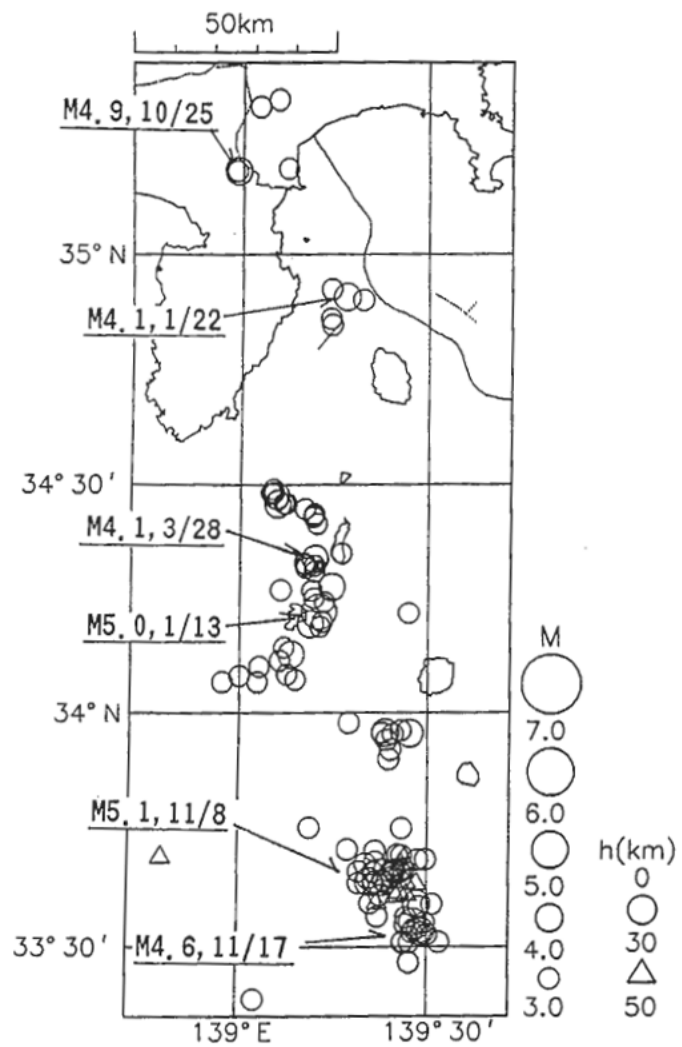
参 考 文 献

- 1) 気象庁地震予知情報課：伊豆半島およびその周辺の地震活動（1994年11月～1995年4月），連絡会報，**53**（1995），314-322.



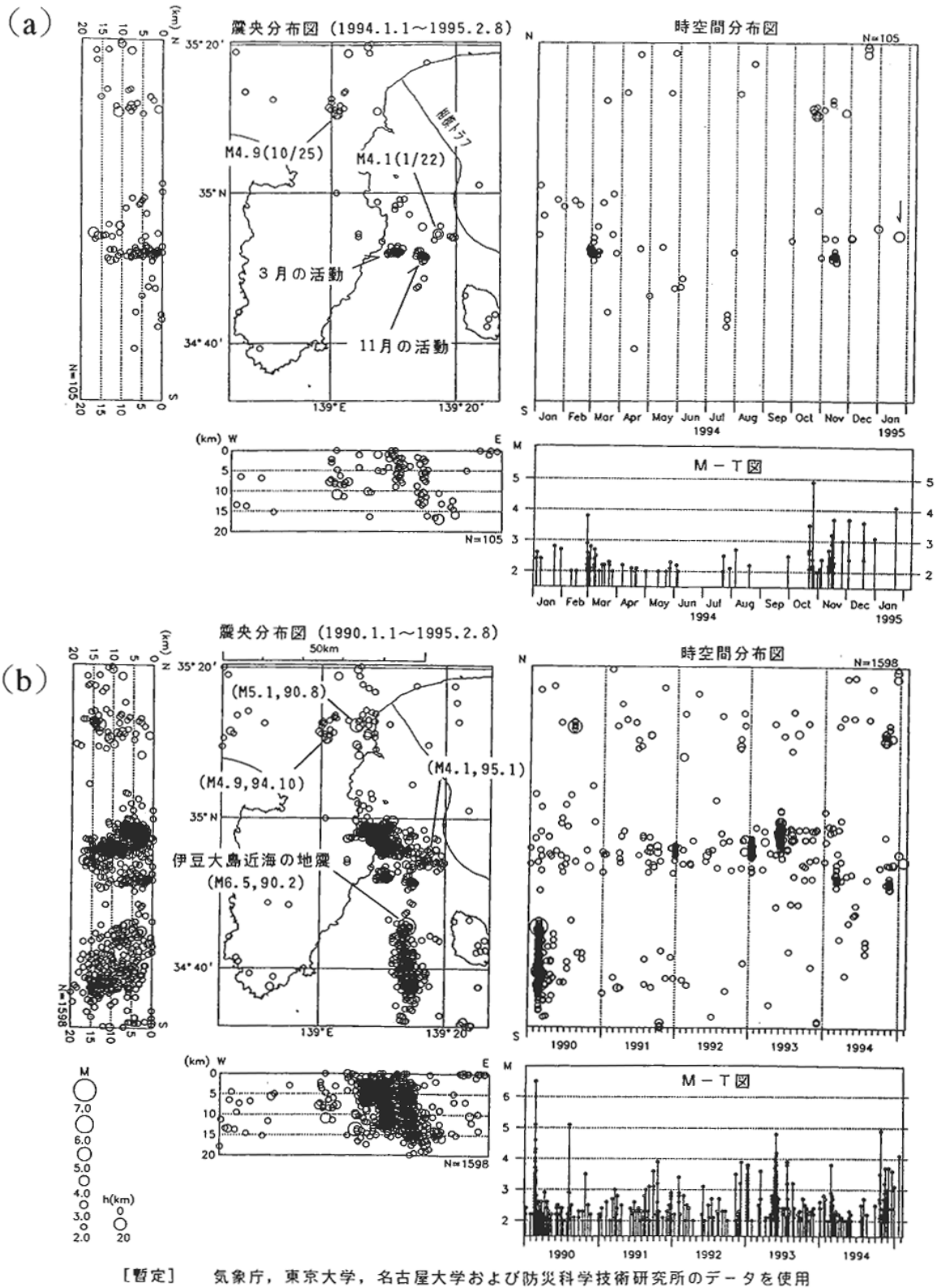
第1図 伊東市鎌田における日別地震回数（ $S-P \leq 6$ 秒），挿図は1995年2月～5月の震央分布。

Fig.1 Daily number of earthquakes observed at Kamata in Ito city ($S-P$ time ≤ 6.0 seconds). Insert shows epicenters for February-May, 1995.



第2図 伊豆半島および伊豆諸島にかけての地震活動の経過 (1994年10月~1995年4月)

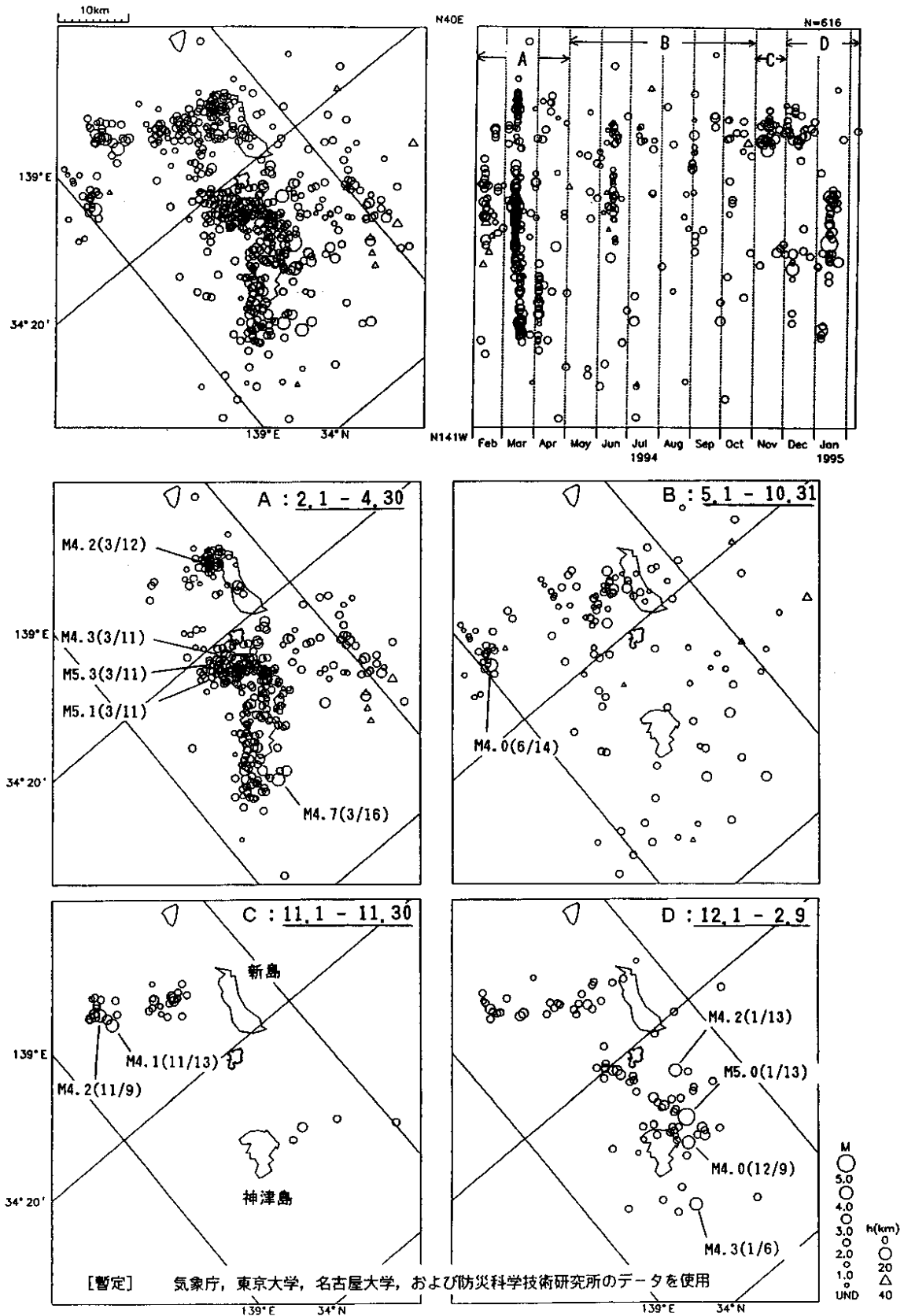
Fig.2 Seismic activity in the Izu Peninsula and the Izu Islands (October, 1994-April, 1995).



第3図 伊豆半島およびその周辺の地震活動

(a)1994年1月1日~1995年2月8日, (b)1990年1月1日~1995年2月8日。

Fig.3 Seismic activity in and around the Izu Peninsula for (a) January 1, 1994-February 8, 1995, and (b) January 1, 1995-February 8, 1995.



第4図 新島・神津島周辺の地震活動（1994年2月～1995年1月）、上段は全期間の震央分布図および時空間分布図、A～Dは各期間の震央分布図。

Fig. 4 Seismic activity near the Niijima and Kouzusima Islands for February, 1994-January, 1995. Upper figures show epicenters and space-time plots for the whole period. A-D show epicenters for each period.